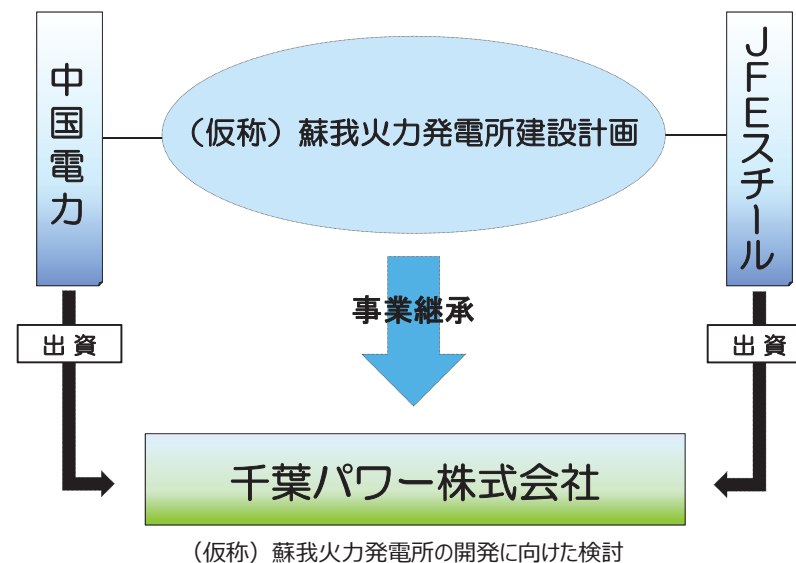


(仮称) 蘇我火力発電所建設計画 環境影響評価方法書

平成30年 2月
千葉パワー株式会社

- 1.対象事業の概要
- 2.環境影響評価の項目及び調査、
予測・評価手法の概要

1. 対象事業の概要



電気事業を取り巻く環境

地球環境問題等への対応
小売り全面自由化

目的

関東地域における中長期的な電力の安定供給確保への貢献

石炭火力発電所建設を検討

・地元経済活性化への寄与

・なぜ石炭なのか？

日本のエネルギー基本計画の基本理念（3E+S）
【安定して供給】【経済性（安価）】【環境への適合】 + 【安全】

[原子力][石炭火力][LNG火力][再生可能エネルギー]
各エネルギー源の特性を踏まえてバランスよく活用することが重要

安定供給性と経済性に優れた
「重要なベースロード電源*」として石炭火力は位置付け

最良の環境対策設備を備えた高効率石炭火力導入により
「安定的」「安価」な電力を供給することが可能

*ベースロード電源：発電コストが低廉で安定的に発電することができ
昼夜を問わず継続的に稼働できる電源

・なぜ千葉（蘇我）につくるのか？

製鉄所の港湾・石炭インフラを活用

工事量を大幅に削減，環境負荷を低減

・地球温暖化対策はどうなのか？

最新鋭の高効率発電技術である超々臨界圧（USC）方式を採用

二酸化炭素排出量を抑える

・排ガスの環境対策はどうなのか？

最良の環境対策設備を採用
（脱硝設備，脱硫設備及び電気集じん器）

環境負荷の低減

名称	(仮称)蘇我火力発電所 建設計画
原動力の種類	汽力
出力	約107万kW (発電端)
燃料の種類	石炭+副生ガス
所在地	千葉県 千葉市 中央区 川崎町1番地 JFEスチール株式会社 東日本製鉄所 (千葉地区)構内

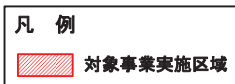


凡例
対象事業実施区域

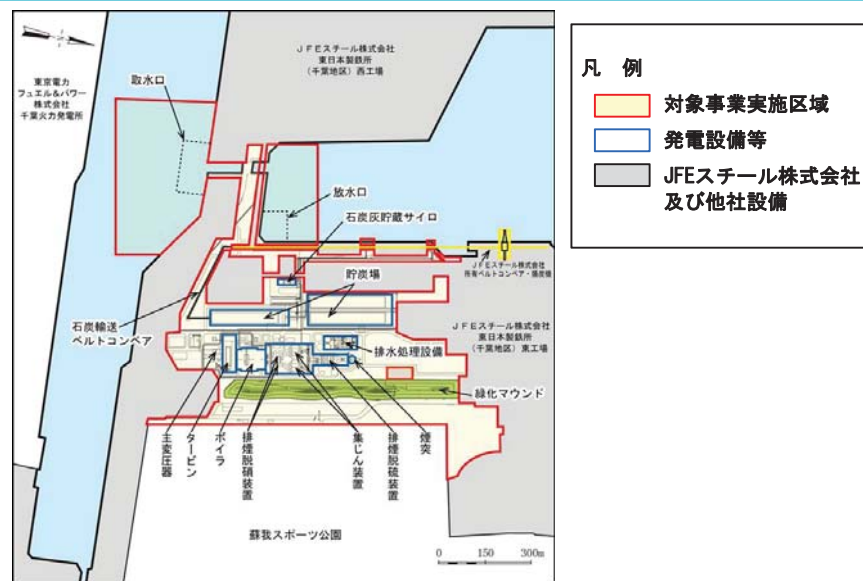
対象事業実施区域の位置



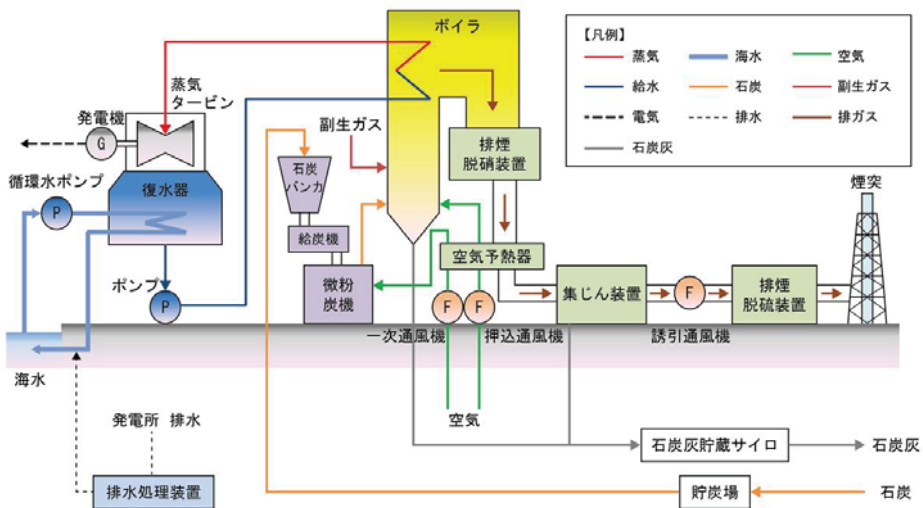
対象事業実施区域	
約63万㎡	
陸域	海域
約43万㎡	約20万㎡



発電所の配置計画の概要



発電所の設備の概要



主要機器等の概要

主要機器等		概要
ボイラ	形式	超々臨界圧変圧運転貫流型 (USC※)
	燃焼方式	微粉炭燃焼方式
蒸気タービン	形式	一軸4流排気式再熱復水型
	出力	約107万kW (1基)
発電機		交流同期発電機
主変圧器		導油風冷式
燃料設備		貯炭場 : 密閉構造 運炭設備 : 密閉構造
取放水設備		取水設備 : 深層取水方式 放水設備 : 表層放水方式
ばい煙処理設備		排煙脱硫装置 : 湿式石灰石-石膏法 排煙脱硝装置 : 乾式アンモニア接触還元法 集じん装置 : 電気式集じん方式
石炭灰処理設備		石炭灰貯蔵サイロ : 密閉構造

※国内の100万kW級の石炭火力発電のうち商用プラントとして運転開始している最新鋭の発電技術

ばい煙に関する事項

項目	単位	石炭専焼時	副生ガス混焼時	備考
煙突	頂部内径	m	7.4	
	地上高	m	190	
排出ガス量	湿り	10 ³ m ³ _N /h	約3,300 (約3,740)	約3,500 (約3,950)
	乾き	10 ³ m ³ _N /h	約2,900 (約3,320)	約3,100 (約3,510)
煙突出口ガス	温度	℃	約87	約93
	速度	m/s	約28 (約31)	約30 (約34)
硫黄酸化物	排出濃度	ppm	20	
	排出量	m ³ _N /h	約58 (約67)	約62 (約71)
窒素酸化物	排出濃度	ppm	15 (20)	14 (20)
	排出量	m ³ _N /h	約49 (約75)	約49 (約80)
ばいじん	排出濃度	mg/m ³ _N	5	
	排出量	kg/h	約16 (約19)	約18 (約20)

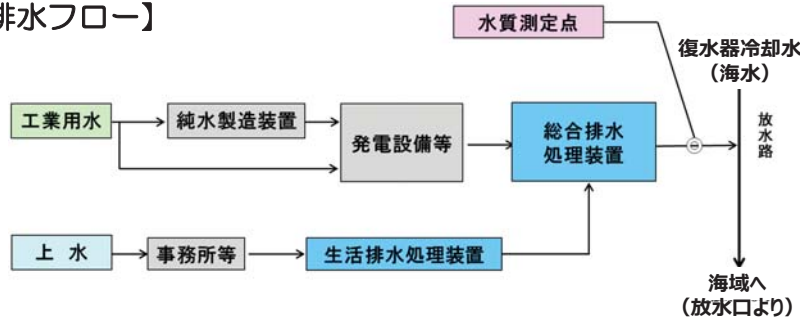
※()内の数値は配慮書においての計画値である。

復水器の冷却水に関する事項

項目	単位	内容
復水器冷却方式	—	海水冷却
取水方式	—	深層取水
放水方式	—	表層放水
冷却水量	m ³ /s	約45
復水器設計水温上昇値	℃	7
取放水温度差	℃	7以下

一般排水に関する事項

【排水フロー】



排水量	通常	約1,800 m ³ /日
	最大	約2,000 m ³ /日
排水の水質	水素イオン濃度 (pH)	5.0~9.0
	化学的酸素要求量 (COD)	10 mg/L以下
	浮遊物質 (SS)	20 mg/L以下
	窒素含有量	30 mg/L以下
	燐含有量	4 mg/L以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	2 mg/L以下

石炭粉じんに関する事項

項目	環境配慮事項
送炭コンベア	・新設する密閉構造のベルトコンベアで貯炭場まで送炭する。
貯炭場	・荷揚げされ送炭された石炭は新設する密閉構造の設備で貯蔵する。

【密閉構造貯炭場の例】



工事に関する事項

17
千葉パワー株式会社
Chiba Power Corp.

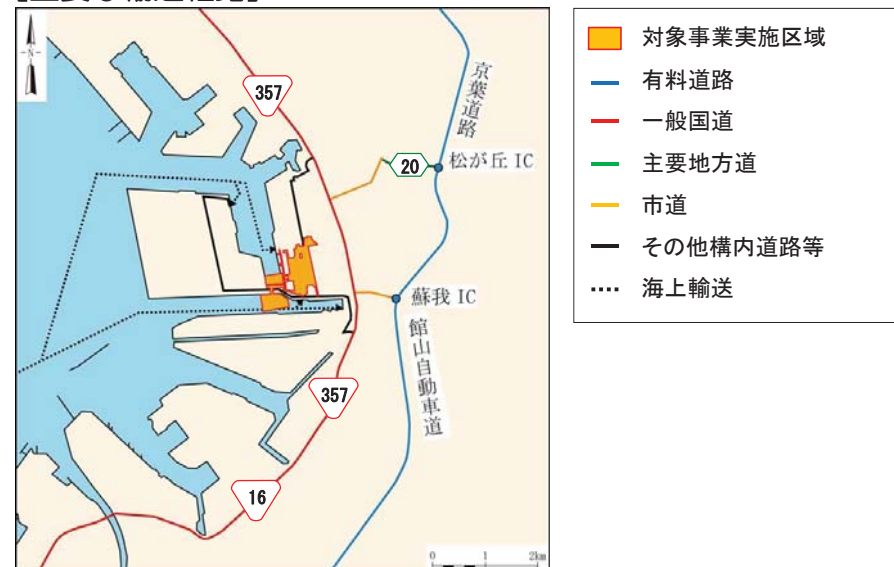
着工予定時期	2020年（平成32年）（予定）
運転開始予定時期	2024年（平成36年）（予定）

年数	1	2	3	4
全体工程	着工			運転開始
土木建築工事	30ヶ月			
機械等設置工事		29ヶ月		
試運転				8ヶ月

工事に関する事項

18
千葉パワー株式会社
Chiba Power Corp.

【主要な輸送経路】



工事に関する事項

19
千葉パワー株式会社
Chiba Power Corp.

項目	環境配慮事項
排水	・工事中の排水は、仮設沈殿池等にて処理した後、海域に排出する。
廃棄物	・工事中において発生する廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に基づき、適正に処理する。
残土	・基礎掘削工事などに伴って発生する土砂は、発電所構内の造成等に有効利用し、浚渫工事に伴う発生土は、適正に対応・処理を行う。

その他の環境に関する事項

20
千葉パワー株式会社
Chiba Power Corp.

項目	環境配慮事項
景観	・「千葉県良好な景観の形成の推進に関する条例」等に基づき建屋の色彩等は周辺環境との調和に配慮する。
緑化	・「工場立地法」及び「千葉市工場立地法地域準則条例」に基づき、必要な緑地を整備する。
温室効果ガス（二酸化炭素）	・「東京電力の火力電源入札に関する関係局長級会議取りまとめ」における「BATの参考表」の「(A) 経済性・信頼性において問題なく商用プラントとして既に運転開始をしている最新鋭の発電技術」以上の技術を採用し、 高効率化・低炭素化 を図る。 ・省エネ法※に基づくベンチマーク指標については、その目標達成に向けて、計画的に取り組み、2030年度に向けて確実に遵守する。その取り組みとして、バイオマス燃料の混焼等今後検討していく。

※省エネ法：エネルギーの使用の合理化等に関する法律

2. 環境影響評価の項目及び調査、予測・評価手法の概要

環境の自然的構成要素の 良好な状態の保持	①大気環境（大気質，騒音・振動）
	②水環境（水質，水温，流況）
生物の多様性の確保及び 自然環境の体系的保全	③動物
	④植物
	⑤生態系
人と自然との豊かな触れ合い	⑥景観
	⑦人と自然との触れ合いの活動の場
環境への負荷	⑧廃棄物等
	⑨温室効果ガス等（二酸化炭素）

環境要素の区分		影響要因の区分		二酸化炭素削減効果		環境影響評価項目	
環境要素の区分	影響要因の区分	二酸化炭素削減効果	環境影響評価項目	二酸化炭素削減効果	環境影響評価項目	二酸化炭素削減効果	環境影響評価項目
環境の自然的構成要素の 良好な状態の保持を旨とし て調査、予測及び評価され るべき環境要素	大気環境	大気質	自動車排気物 発電排気物 浮遊粒子状物質 気溶膠じん 粉じん等 臭気等の悪影響物質	○	○	○	○
		騒音	騒音	○	○	○	○
	水環境	水質	水の汚染 農業排水 水の濁り	○	○	○	○
		水温	水温	○	○	○	○
	その他の環境	動物及び植物	貴重な動物及び植物	○	○	○	○
		生態系	貴重な生態系	○	○	○	○
	生物の多様性の確保及び 自然環境の体系的保全を 旨として調査、予測及び評 価されるべき環境要素	動物	貴重な種及び注目すべき 生物（富集に注意する ものを含む。）	○	○	○	○
		植物	貴重な種及び注目すべき 生物（富集に注意するもの を含む。）	○	○	○	○
	人と自然との豊かな触れ 合いの確保を旨として調 査、予測及び評価される べき環境要素	景観	貴重な景観	○	○	○	○
		人と自然との触れ合い の活動の場	貴重な人と自然との 触れ合いの活動の場	○	○	○	○
環境への負荷の軽減 による調査、予測される べき環境要素	廃棄物等	廃棄物等	○	○	○	○	
	温室効果ガス	二酸化炭素	○	○	○	○	

あらかし6ページに掲載

■：発電所アセス省令における参考項目
○：環境影響評価項目として選定した項目

大気質

影響要因の区分			工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用						
			工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	施設の稼働			資材等の搬出入	廃棄物の発生	
環境要素の区分	大気環境	大気質				排ガス	排水	温排水			機械等の稼働
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	硫酸酸化物				○				
			窒素酸化物	○	○		○			○	
			浮遊粒子状物質	○	○		○			○	
			石炭粉じん								
			粉じん等	○	○					○	
			重金属等の微量物質				○				

■：発電所アセス省令における参考項目 ○：環境影響評価項目として選定した項目

【工事及び供用：運搬車両の運行】窒素酸化物、浮遊粒子状物質、粉じん等

調査

- 資料調査
- 現地調査



沿道大気質濃度の測定



地上・上層気象観測



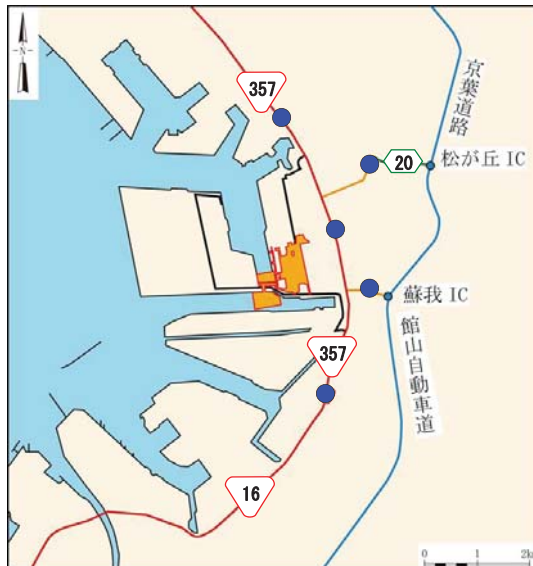
交通量調査

予測

- 窒素酸化物、浮遊粒子状物質：数値計算による予測
- 粉じん：関係車両の割合について予測

評価

- 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討
- 環境基準等との整合が図られているか



- 対象事業実施区域
- 有料道路
- 一般国道
- 主要地方道
- 市道
- その他構内道路等
- 沿道大気質調査地点(5地点)

影響要因の区分			工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用						
			工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	施設の稼働			資材等の搬出入	廃棄物の発生	
環境要素の区分	大気環境	大気質				排ガス	排水	温排水			機械等の稼働
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	硫酸酸化物				○				
			窒素酸化物	○	○		○			○	
			浮遊粒子状物質	○	○		○			○	
			石炭粉じん								
			粉じん等	○	○					○	
			重金属等の微量物質				○				

■：発電所アセス省令における参考項目 ○：環境影響評価項目として選定した項目

【工事：建設機械の稼働】窒素酸化物、浮遊粒子状物質、粉じん等

- 調査
- 資料調査
 - 現地調査



地上・上層気象観測

- 予測
- 窒素酸化物，浮遊粒子状物質：数値計算の予測
 - 粉じん：類似の事例を参考にした予測
- 評価
- 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討
 - 環境基準等との整合が図られているか



- 対象事業実施区域
- 地上・上層気象調査地点

- 地上気象
 - 地上の風向・風速等を観測
- 上層気象
 - 煙突高度付近の風向・風速を観測

影響要因の区分		環境要素の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用							
				工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形改変及び施設が存在	施設の稼働		資材等の搬出入	廃棄物の発生		
							排ガス	排水	温排水	機械等の稼働			
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	硫黄酸化物				○						
			窒素酸化物	○	○		○					○	
			浮遊粒子状物質	○	○		○					○	
			石炭粉じん										
			粉じん等	○	○								○
			重金属等の微量物質				○						

□：発電所アセス省令における参考項目 ○：環境影響評価項目として選定した項目

【供用：施設の稼働（排ガス）】
硫酸酸化物、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、重金属等の微量物質

- 調査
- 資料調査
 - 現地調査



地上・上層気象観測



高層気象観測



重金属等の微量物質

- 予測
- 大気質：数値計算による予測
 - 重金属：最大着地濃度の予測
- 評価
- 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討
 - 環境基準等との整合が図られているか

調査地点（大気質）



- 対象事業実施区域
- 一般環境大気測定局(43局)
- 重金属等の微量物質(4地点)
(現地調査)

調査地点（気象）



- 対象事業実施区域
- 地上・上層気象調査地点
- 高層気象調査地点

- ・地上気象
地上の風向・風速等を観測
- ・上層気象
煙突高度付近の風向・風速を観測
- ・高層気象調査
高層の風向, 風速等を観測

騒音・振動

影響要因の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用					
				工事用資材等の搬出入			土地又は工作物の存在及び供用		
環境要素の区分	大気環境	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	排ガス	排水	温排水	機械等の稼働	資材等の搬出入	廃棄物の発生
		環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査, 予測及び評価されるべき環境要素	騒音	騒音	○	○			
振動	振動		○	○				○	○
その他	低周波音						○		

■ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

【工事及び供用：運搬車両の運行】騒音・振動

- 調査**
- 資料調査
 - 現地調査



道路交通騒音調査



交通量調査

- 予測** 音及び振動の伝搬理論に基づく計算による予測

- 評価**
- 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討
 - 環境基準等との整合が図られているか



- 対象事業実施区域
- 有料道路
- 一般国道
- 主要地方道
- 市道
- その他構内道路等
- 騒音等調査, 交通量調査地点 (5地点)

環境要素の区分		影響要因の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用				
				工 事 用 資 材 等 の 搬 出 入	建 設 機 械 の 稼 働	造 成 等 の 施 工 に よ る 一 時 的 な 影 響	施設稼働		資 材 等 の 搬 出 入	廃 棄 物 の 発 生
排 力 入	排 水	温 排 水	機 械 等 の 稼 働							
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	騒音	騒音	○	○				○	○
		振動	振動	○	○				○	○
		その他	低周波音							○

□ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

【工事：建設機械の稼働、施設の稼働（機械等の稼働）】騒音・振動・低周波音

- 調査** 現地調査



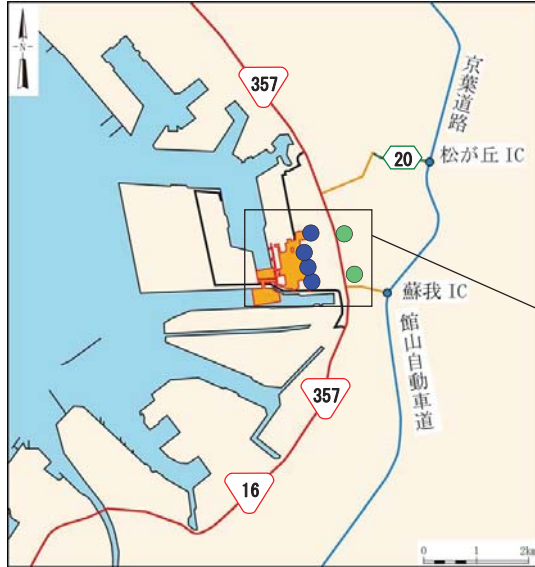
騒音・低周波音調査



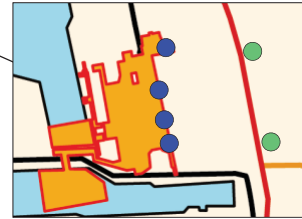
振動調査

- 予測** 音及び振動の伝搬理論に基づく計算による予測

- 評価**
- 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討
 - 環境基準等との整合が図られているか



- 対象事業実施区域
- 騒音、振動、低周波音調査地点（敷地境界）(4地点)
- 騒音、振動、低周波音調査地点（民家等が存在する地域）(2地点)



水環境

影響要因の区分		環境要素の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用				
				工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	施設の稼働		資材等の搬出入	廃棄物の発生
水質	底質	その他	排ガス				排水	温排水		
			環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	水環境	水質	水の汚れ				
富栄養化								○		
水の濁り	○	○								
水温									○	
底質	有害物質			○						
		その他	流向及び流速			○		○		

□ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

【工事：建設機械の稼働、造成等の施工による一時的な影響】水の濁り

調査 ▶ 現地調査

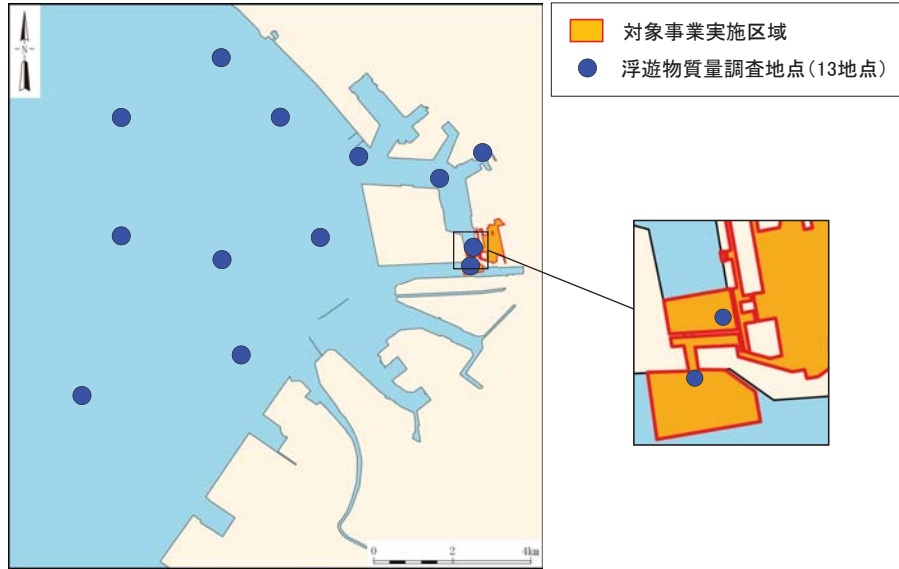


水の濁り調査（採水）

予測 ▶ 浮遊物質：類似の事例を参考に海域への影響の程度を予測

評価 ▶ 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討

調査地点（水の濁り）



環境影響評価項目の選定

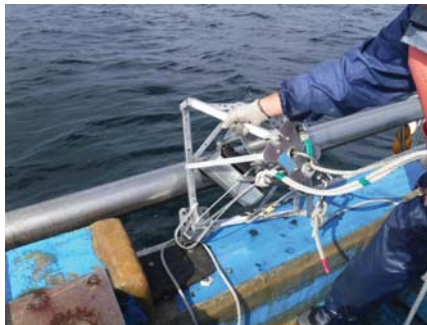
影響要因の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用							
		建設機械の稼働 工事用資材等の搬出入	造成等の施工による一時的な影響	施設の稼働		資材等の搬出入	廃棄物の発生				
環境要素の区分	水質			底質	その他			排ガス	排水	温排水	機械等の稼働
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	水質	水の汚れ							○		
		富栄養化							○		
		水の濁り	○	○							
		水温								○	
	底質	有害物質	○								
その他	流向及び流速					○			○		

 : 発電所アセス省令における参考項目
 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

底質

【工事：建設機械の稼働】有害物質

調査 ▶ 現地調査

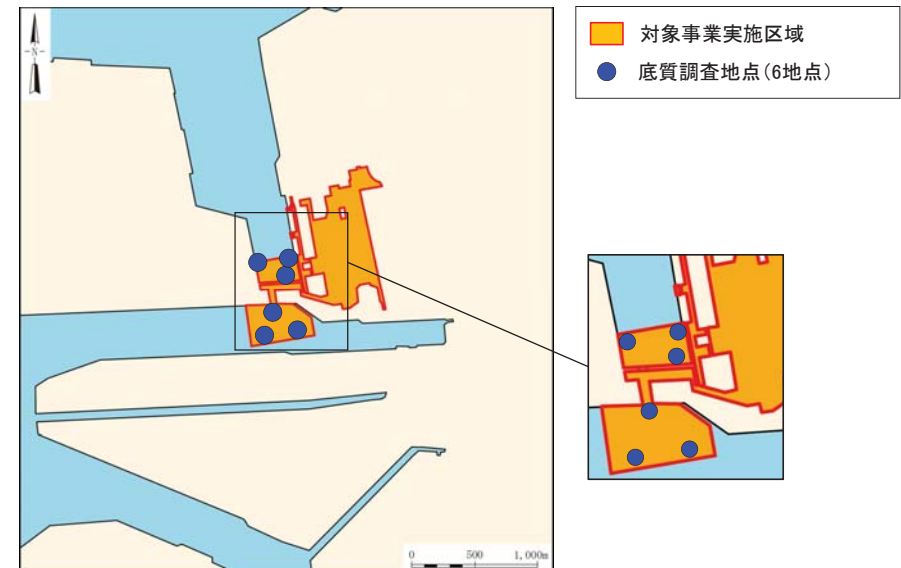


底質調査（採泥）

予測 有害物質：類似の事例を参考に海域への影響の程度を予測

評価 ▶ 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討
 ▶ 法令に定められた「水底土砂に係る判定基準」等との整合が図られているか

調査地点（底質）



環境要素の区分		影響要因の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用							
				工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形変化及び施設の存在	施設の稼働				資材等の搬出入	廃棄物の発生
								排ガス	排水	温排水	機械等の稼働		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	水環境	水質	水の汚れ						○				
			富栄養化						○				
			水の濁り		○	○							
		水温								○			
		底質	有害物質		○								
	その他	流向及び流速				○				○			

□ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

【供用：施設の稼働（排水）】水の汚れ、富栄養化

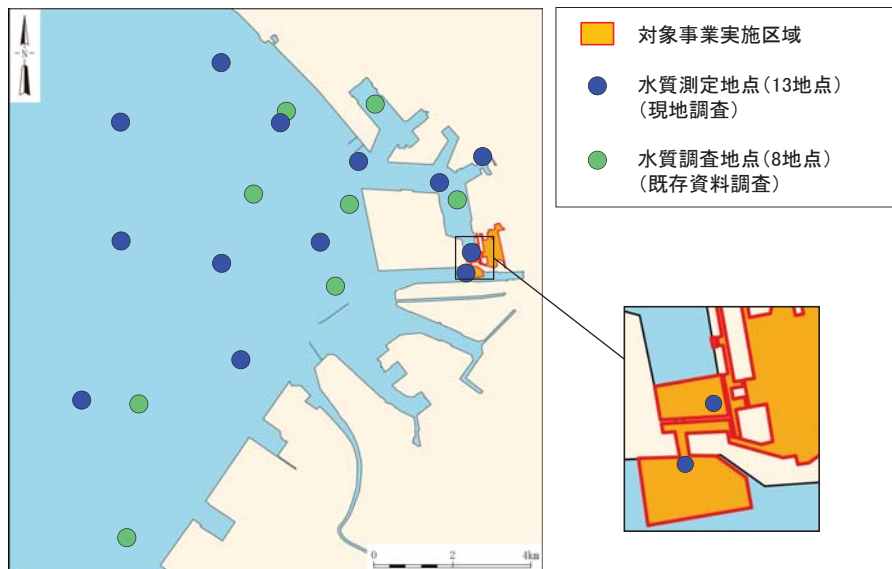
- 調査
- 資料調査
 - 現地調査



水の汚れ・富栄養化調査（採水）

- 予測
- 水の汚れ、富栄養化
 - 類似の事例を参考に海域への影響の程度を予測

- 評価
- 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討
 - 「水質汚濁に係る環境基準について」との整合が図られているか



環境要素の区分		影響要因の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用							
				工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形変化及び施設の存在	施設の稼働				資材等の搬出入	廃棄物の発生
								排ガス	排水	温排水	機械等の稼働		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	水環境	水質	水の汚れ							○			
			富栄養化							○			
			水の濁り		○	○							
		水温									○		
		底質	有害物質		○								
	その他	流向及び流速				○				○			

□ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

【供用：施設の稼働（排水）】水温

- 調査
- 資料調査
 - 現地調査



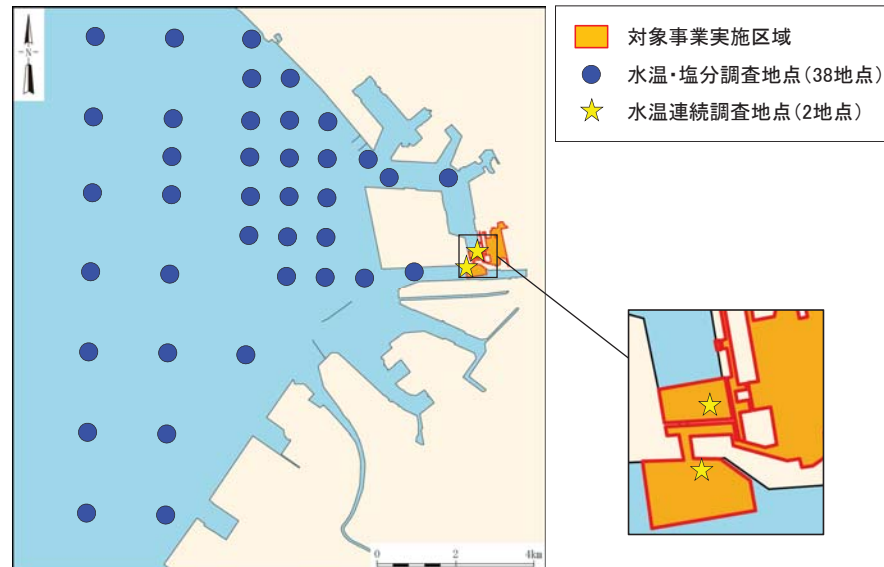
水温・塩分調査



水温連続調査

予測 数理モデルによるシミュレーション解析により、温排水の拡散を予測

評価 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討



影響要因の区分		環境要素の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用						
				工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	施設の稼働				資材等の搬出入	廃棄物の発生
							地形改変及び施設の存在	排ガス	排水	温排水		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	水環境	水質	水の汚れ					○				
			富栄養化					○				
			水の濁り		○	○						
			水温							○		
	底質	有害物質		○								
その他	流向及び流速				○			○				

□ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

【供用：地形改変及び施設の存在、施設の稼働（温排水）】流向及び流速

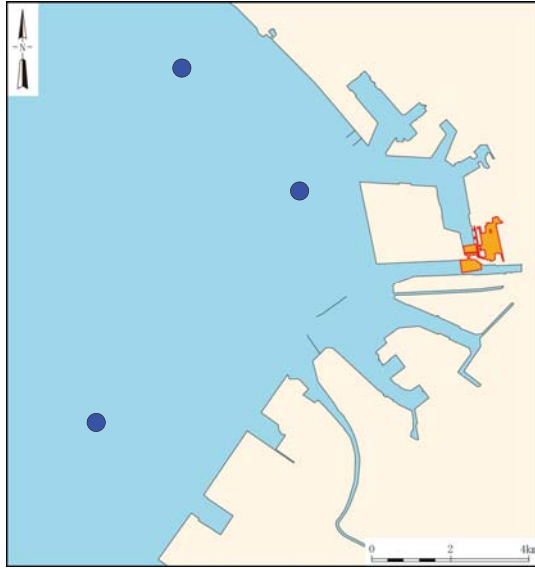
調査 現地調査



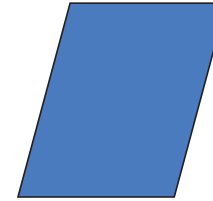
流向・流速調査

予測 数理モデルによるシミュレーション解析により流向及び流速を予測

評価 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討



- 対象事業実施区域
- 流向及び流速調査地点(3地点)



動物・植物

影響要因の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用				
		工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形変化及び施設の存在	施設の稼働	資材等の搬出入	廃棄物の発生
環境要素の区分	動物							
	植物							
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物				○	○		
	植物				○	○		

□ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

【供用：地形変化及び施設の存在，施設の稼働（温排水）】
海域に生息する動物

調査

- 資料調査
- 現地調査

海域に生息する動物：魚等の遊泳動物，潮間帯生物（動物），底生生物，動物プランクトン，卵・稚子



魚等の遊泳動物調査



潮間帯生物調査

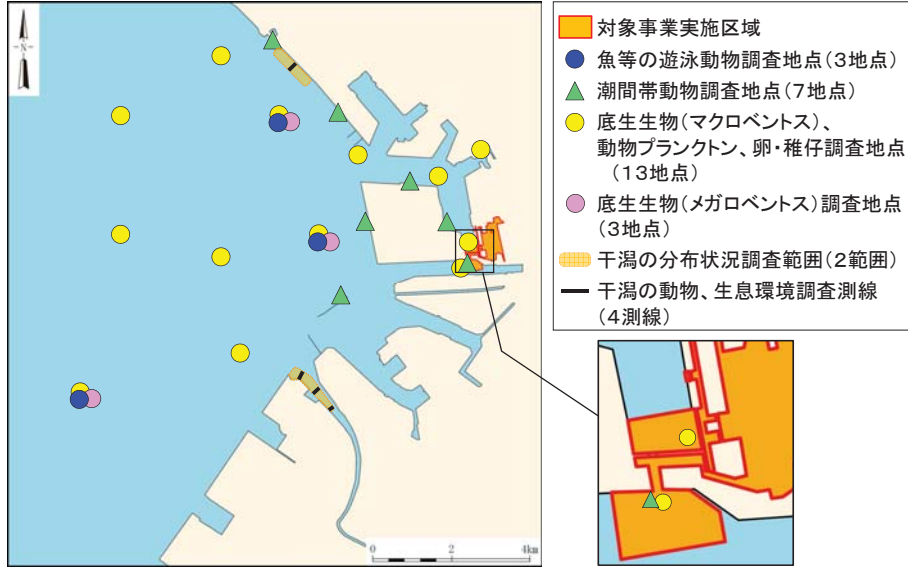
予測

類似事例の引用または解析による予測

評価

環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討

調査地点（海域に生息する動物）



環境影響評価項目の選定

影響要因の区分	工事の実施 工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働 造成等の施工による一時的な影響	土地又は工作物の存在及び供用				資材等の搬出入	廃棄物の発生
			地 形 改 変 及 び 施 設 の 存 在	施 設 の 稼 働 排 ガ ス	排 水	温 排 水		
環境要素の区分								
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	海域に生息する動物				○		
	植物	海域に生育する植物				○		

○：発電所アセス省令における参考項目 ○：環境影響評価項目として選定した項目

植物（海域に生育する植物）

【供用：地形改変及び施設の存在、施設の稼働】 海域に生育する植物

- 調査
- 資料調査
 - 現地調査

海域に生育する植物：潮間帯生物（植物），海藻草類，植物プランクトン



植物プランクトン調査

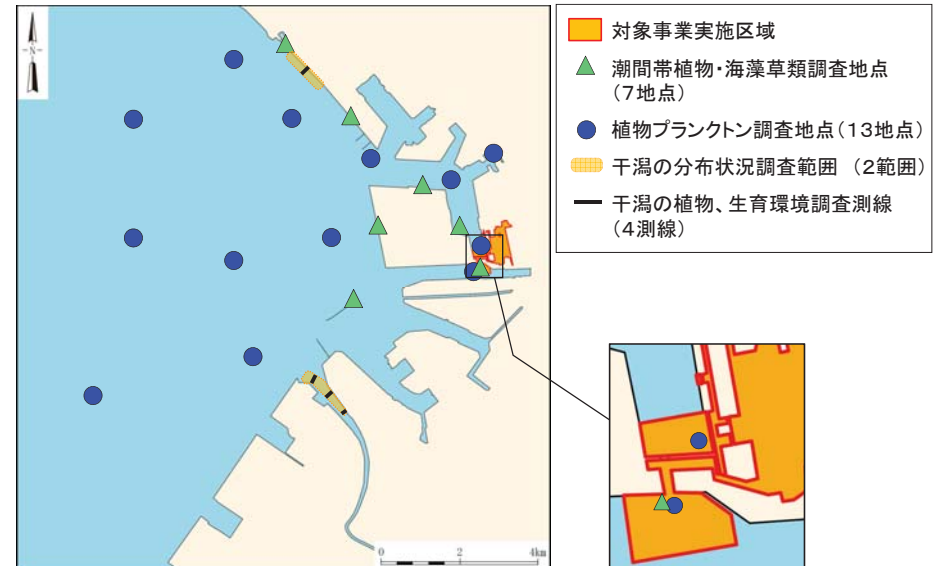


干潟調査

予測 類似の事例の引用または解析による予測

評価 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討

調査地点（海域に生育する植物）



景観

影響要因の区分	環境要素の区分	工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用				
		工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形改変及び施設の存在	施設の稼働	資材等の搬出入	廃棄物の発生
		排ガス	排水	温排水	機械等の稼働			
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観					○		
	人と自然との触れ合いの活動の場							○

■ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

景観

【供用：地形改変・施設の存在】 主要な眺望景観

調査

- 資料調査
- 現地調査



景観調査（近景）
オリジナルメーカー海づり公園

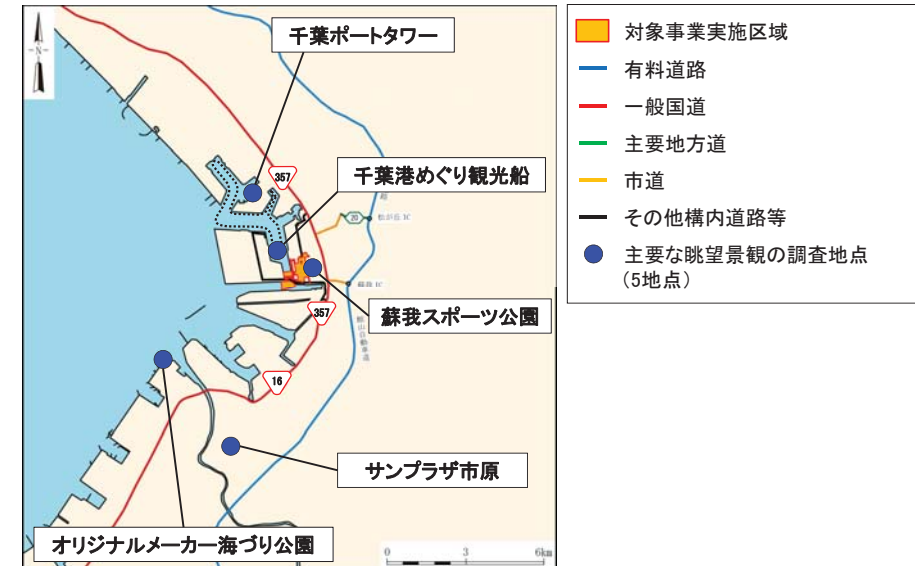
予測

眺望景観の変化の程度を予測

評価

環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討

調査地点（景観）



人と自然との 触れ合いの活動の場

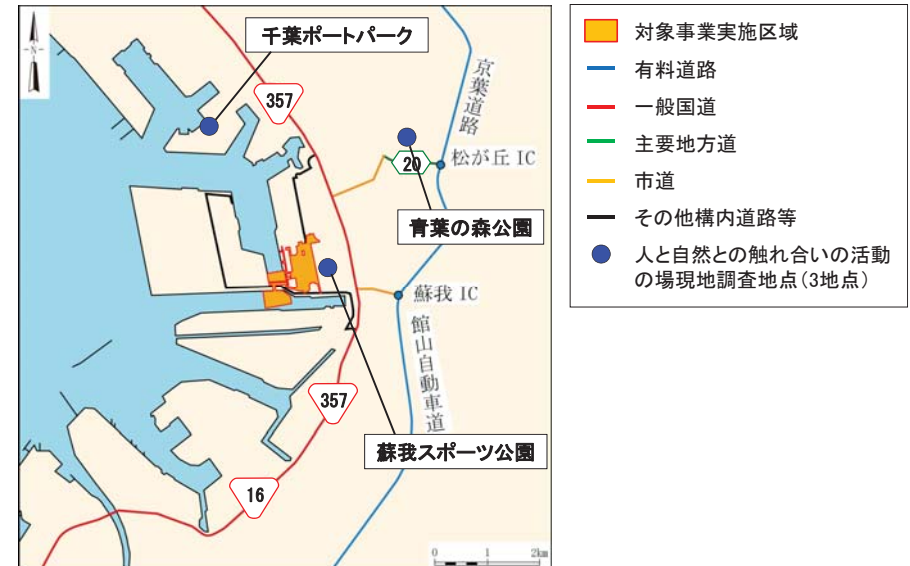
環境要素の区分	影響要因の区分		工事の実施 土地又は工作物の存在及び供用							
	工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	施設の稼働				資材等の搬出入	廃棄物の発生	
				排ガス	排水	温排水	機械等の稼働			
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観			○					
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○							○

○ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

【工事及び供用：運搬車両の運行】

人と自然との触れ合いの活動の場

- 調査**
 - 資料調査
 - 現地調査
 - ・主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用の状況
 - ・利用環境の状況
 - ・交通量に係る状況
- 予測**
 - 主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスルートの変化する変化を予測し、利用特性への影響を予測
- 評価**
 - 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討



廃棄物

影響要因の区分		工事の実施 工事用資材等の搬出入 建設機械の稼働 造成等の施工による一時的な影響	土地又は工作物の存在及び供用					廃棄物の発生
			地形 変化及び 施設の存在	施設の稼働 排ガス 排水	温排水	機械等の稼働	資材等の搬出入	
環境要素の区分	産業廃棄物							○
	残土							○
	温室効果ガス等 二酸化炭素				○			

□ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

廃棄物等

【工事：造成等による一時的な影響】 産業廃棄物・残土
【供用：廃棄物の発生】 産業廃棄物

予測 産業廃棄物の種類ごとの発生量、残土の発生量、有効利用量、最終処分量を事業計画等に基づき予測

評価

- 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討
- 関係法令との整合性

温室効果ガス

影響要因の区分 環境要素の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用							
		工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形改変及び施設の存在	施設の稼働			資材等の搬出入	廃棄物の発生	
環境への負荷の量 の程度により予測 及び評価されるべき 環境要素	廃棄物等			○							○
				○							
	温室効果ガス等					○					

□ : 発電所アセス省令における参考項目 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目

【供用：施設の稼働（排ガス）】二酸化炭素

予測 → 発生する二酸化炭素の排出量及び年間排出量を燃料使用量、発電電力量等から算出

評価 →

- 環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかの検討
- 国の指針との整合が図られているか



千葉市の花「オオガハス」